

# 『ぱんだより』

※パンダからのお便りという意味で「ぱんだより」と名付けました。  
 スパークスのアジア地域における情報発信レポート

第33号(2009年6月29日)「中国市場動向2009年5月」



## 中国で成功を遂げた男性の証は？

現在、中国で成功を遂げた男性の証として3つのキーワードがあります。それは、マイホーム、マイカー、そして素敵なお嫁さんと結婚することだそうです。

中国の国務院の発表によると、中国では20歳以下の男性が女性よりも3,200万人も多く、これが約10年後の2020年になると4,000万人もの男性過多になると予想されています。つまり簡単に計算すると男性5人のうち1人が結婚できない時代が到来するということになります。中国の男性は本腰を入れて「婚活」しなければ独身の可能性が高くなるため、マイカーやマイホームの獲得に躍起になるのでは、との話もあるようです。

### 成功の3つのキーワード

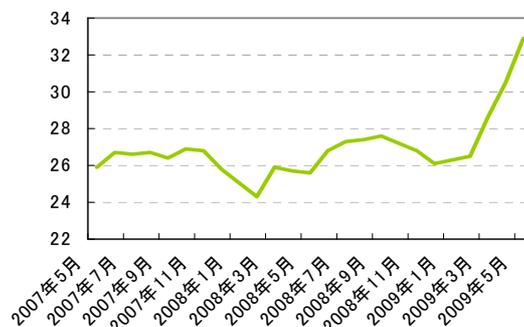


## 不動産投資の拡大

中国都市部は、まさに今マンションの建設ラッシュです。多くの地下鉄の駅周辺や大型ショッピングセンターの近くでは、豪華なマンションビルの建設が進められています。

現在、中国でのマイホームブームは、追い風の真只中で、5月の中国国内都市部の固定資産投資額も前年同期比32.9%と高い伸び率を見せました。景気回復に向けて中国政府が打ち出した建設投資拡大政策の効果が出ていると考えられます。

(%) 都市部の固定資産投資 (前年同月比)



出所: Bloomberg, 2009年5月末現在

現在、中国の住宅保有率は80%前後で、世界的にもかなり高い水準に達しているようです。しかし、中国では、年収に対して高額なローンを組んで住宅を購入しており、夫婦共働きでかなり無理をしてローンを返済しているケースが多いようです。つまり男性にとっては、いかに若いうちにローンを組んで住宅を購入するかが成功の鍵なのです。



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



# 『ぱんだより』

スパークスのアジア地域における情報発信レポート



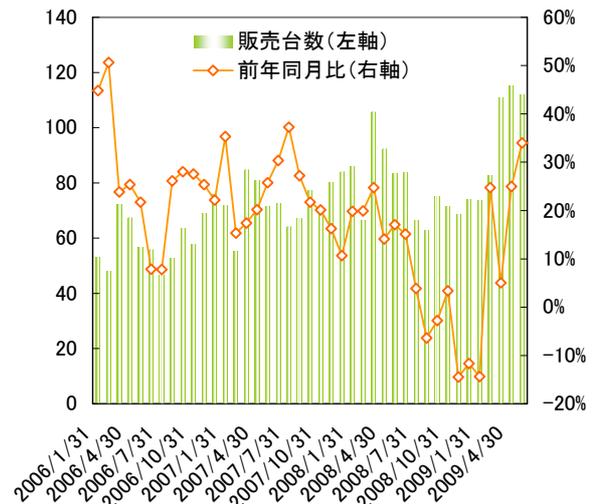
## 自動車販売台数増加

4月に開催された上海モーターショーでは、成長市場である中国で事業拡大を目指す各国の有名自動車メーカーが、盛大に最新自動車のPRを行いました。中国では政府がハイブリッド車を購入した人に補助金を支給する政策を打ち出しているため、今後ハイブリッド車の需要が伸びることが見込まれています。

重慶市では、国有メーカーの「長安自動車」のハイブリット車に一台4.3万元(約60万円)の補助金を出すことに決めたようです。この金額はハイブリット車と一般車の平均的な値段の差額の約90%にもおよび、先進国の補助金比率よりはるかに大きなものになっています。それを受けて、5月中国の乗用車販売台数は、前年同月比でなんと+34%の伸び率となりました。

今、中国ではマイホームと同様、マイカーを持つことが憧れであり、無理をしても車を持つ若者が増えているようです。今後も中国での住宅、自動車販売は高い伸びが期待できそうです。

(万台) 中国の自動車販売台数と前年同月比



出所: Bloomberg, 2009年5月末現在

## 《主要株価推移》 (各市場の直近1年間)



出所: Bloomberg

(編集後記) 日本の男性の皆様、あなたはいくつ成功アイテムを保持されていますか？すべてお持ちの方は素晴らしいですね。でも個人的には男性の価値は“もの”では決まらないと思っています。(笑)

(見に行っちゃいな)



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。